



# セゾン投信 月次運用レポート

## 長期投資家の皆様へ

昨年末に久々のまとまった市場調整の大底をつけてから、今年に入りこれまでの3か月間は総じて右肩上がりの回復基調を続けて来ています。年初から暫くは米国中央銀行の金融政策が利上げ方針の修正により緩和基調に転じたことから、グローバルにリスクマネーの流れが安定を取り戻して、米金融当局の姿勢を睨みながらの楽観が支配するマーケットだったと言えます。

一方で米欧日先進国が揃って金融緩和方向に政策のベクトルを示していることが、实体经济の減速懸念を誘引して、日々の価格調整の材料にもなっていますが、米中貿易摩擦も英国のEU離脱交渉の動向も、はたまた米朝首脳会談の決裂による地政学的不確実性の増大も、現状では不思議なほどマーケットインパクトに乏しい事象となっているようです。

とりわけ英国ではEU離脱への具体的道筋を誰も導き出すことが出来ぬ混迷の極みにあり、合意なき離脱に至る最悪の可能性も否定できないのですが、マーケットはそうしたケースを織り込んでいない程落ち着いています。或いは米中の経済対立も打開が見えず、いずれも世界経済全体にネガティブな影響を大きく及ぼし得る事象で、足元の相場動向が楽観から悲観へと急変する可能性に心構えの必要を感じています。とは言え、私たち長期投資家は決して投資行動を変えるべきではなく、暫く横たわる不確実性にはコツコツと積立投資で対処して行くのが賢明な選択でありましょう。

2月・3月とマーケット水準の戻り基調で、日本の投信全体に投資をやめて解約に動く投資家がずいぶん増えたようですが、そうした方々を横目に忍耐強く投資を継続することが、将来に向けた資産形成を目的とする私たち長期投資家にとっては肝要な時です。地球経済の長期成長軌道は継続しています。どっしり構えて進んでまいりましょう！

代表取締役社長 中野 晴啓

## ご留意事項

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

委託会社：セゾン投信株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会  
<https://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口：03-3988-8668 営業時間 9:00～17:00（土日祝日、年末年始を除く）

# セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド SAISON Vanguard Global Balanced Fund

## 3月の市場動向

**株式：**【金融緩和の長期化観測が一段と高まったものの、景気の先行きに対する懸念が強まり上昇には力強さを欠く展開】  
米連邦公開市場委員会（FOMC）や欧州中央銀行（ECB）理事会を経て、金融緩和の長期化観測が一段と高まったものの、経済指標が全般的に力強さを欠いたことなどを背景に、景気拡大局面が終盤に差し掛かっていると懸念が広がり、上昇には力強さを欠く展開となりました。

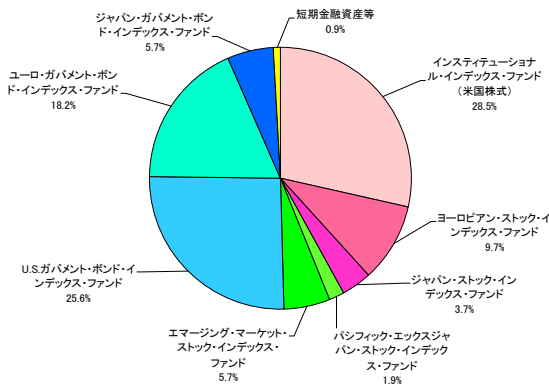
**債券：**【景気の先行きに対する懸念が強まるなかで、金融緩和の長期化観測が一段と高まって上昇】  
米国では、連邦公開市場委員会（FOMC）を経て、2019年中に政策金利の引き上げが行われまいとの見方が広がり、ユーロ圏では欧州中央銀行（ECB）が政策金利の引き上げを2019年中に行わない方針を示したことから金融緩和の長期化観測が一段と高まり、上昇しました。

**為替：**【ドルが堅調な展開となり、ユーロが下落。円は海外との金利差拡大観測が後退するなかで上昇し、対ドル、対ユーロで円高】  
ユーロ圏で景気の先行きに対する懸念が一段と高まったことを受けてユーロが下落し、ドルが堅調な展開となりました。円は米国やユーロ圏で金融緩和の長期化観測が広がったことを受けて日本と米国やユーロ圏との金利差が拡大すると見方が後退して上昇しました。

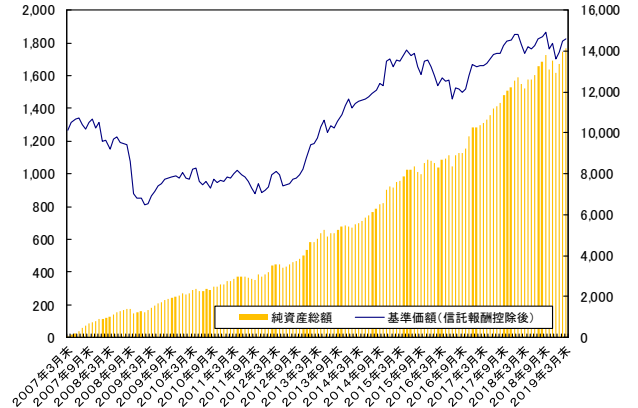
基準価額と純資産総額及び騰落率（2019年3月29日現在）

基準価額	純資産総額	設定来騰落率	過去1ヶ月の騰落率	過去6ヶ月の騰落率	過去1年間の騰落率
14,595円	1765.8億円	+45.95%	+0.63%	-2.30%	+5.21%

資産配分状況（2019年3月29日現在）



純資産総額(億円) 基準価額と純資産総額の推移(設定来/月次) 基準価額(円)



## 3月の運用状況

### 今月の投資スタンス

今月は、定期積立プランなどのご購入により、皆様からお預かりした資金を利用して、定められた投資比率に従って、組み入れ比率が低下していた債券ファンドの購入を行いました。

### ファンドマネジャーからの一言

今月は、債券に投資するファンドが全て上昇したほか、米国、欧州および日本の株式に投資するファンドが上昇し、投資先ファンドが基準価額の上昇要因となりました。為替は、当ファンドの評価時点では、対ドルで小幅な円安、対ユーロで円高となり、基準価額の下落要因となりました。結果、当ファンドの基準価額は上昇しました。

当ファンドでは引き続き、将来への予測に依存することなく幅広く投資を行うことでリスクを分散しながら、皆様の長期的な資産形成に資することができるよう努めて参ります。

※変動要因については、右側の図1、図2もご参照下さい。

※ファンドの基準価額は原則として2営業日前の株式・債券市場の終値を反映しています。

運用部長 瀬下 哲雄

図1 3年度の投資先ファンド価格の変動による影響  
※月末の投資比率に基づく概算値/投資先ファンド通貨建て

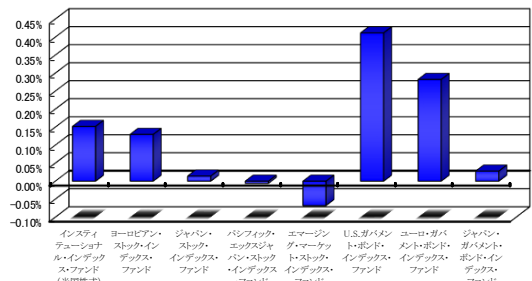
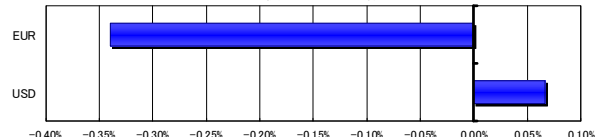


図2 3年度の為替変動による影響  
※月末の投資比率に基づく概算値



## 当ファンドに係るリスクについて

当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としており、株式や公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また当ファンドは外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

したがって、投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、投資元本を割り込むことがあります。当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

## 当ファンドに係る手数料について

お客さまには以下の費用をご負担いただきます。

### ◆購入時に係る費用

購入時手数料はかかりません。

### ◆換金時に係る費用

換金手数料はかかりません。なお、換金申込受付日の翌々営業日の基準価額に対して0.1%の信託財産留保額が控除されます。

### ◆保管期間中に間接的にご負担いただく費用

#### 信託報酬

ファンドの純資産総額に年0.4968%（税抜0.46%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年0.60%±0.02%（税込/概算）となります。

### ◆その他の費用・手数料

当ファンド：

- ・監査費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用等。監査費用を除くその他費用・手数料は、そのつど信託財産から支払われます。投資対象とする投資信託証券：
- ・投資対象国、市況の変化、あるいは制度の変更等を考慮し、バンガードが定めることにより、購入時及び換金時にファンド財産維持手数料がかかることがあります。
- ・ファンド財産維持手数料とは、当ファンドの信託財産から買付もしくは換金（解約）した際に、ファンド自身に、直接支払われる留保金であり、販売手数料や解約手数料とは異なります。

※これらの費用は、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限等を表示することができません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

「Vanguard」（日本語での「バンガード」を含む）及び「tall ship logo」商標は、The Vanguard Group, Inc. が有し、セゾン投信株式会社及び承認された販売会社にのみ使用許諾されたものです。

また「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」は、The Vanguard Group, Inc. 及び Vanguard Investments Japan Ltd より提供、保証又は販売されるものではなく、また投資に関する助言を受けていることを表すものでもありません。従って、The Vanguard Group, Inc. 及び Vanguard Investments Japan Ltd は当ファンド・オブ・ファンズの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

委託会社：セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<https://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口：03-3988-8668 営業時間 9:00～17:00（土日祝日、年末年始を除く）